

平成三〇年度 夏季企画展

# 今に伝わる伝統の漁具

〜知恵と技の融合〜

## ■ごあいさつ

稲敷市を含む霞ヶ浦沿岸では、古来よりその豊富な水産資源を求め、漁業が盛んに行われてきました。

その漁業において、欠かすことのできない漁具は、獲物の習性などを考慮して材料・フォルムに至るまで様々な工夫が施され、現在でも使用されています。

今回の企画展では、そんな漁具に詰め込まれた漁師達の知恵と匠な技、一つ一つ緻密な手作業で作られられるバリエーション豊富な形状、そしてその機能をも紹介します。



魚籠【当館蔵】



うけ【当館蔵】



ず (仕様違い)【当館蔵】



うなぎず【当館蔵】



うなぎ鎌【当館蔵】



おおぼてざる【当館蔵】



やだおし【当館蔵】

## 漁具クイズ

写真を見て漁具の名前を当てよう！

今回の展示の中でも個性的な漁具達をセレクト！

あなたは全て答えることができるかな？

第一問



【当館蔵】

第二問



【当館蔵】

第三問



【当館蔵】

◎クイズの答えは展示室で大公開！

※漁具の名称は解説パネルにてご確認ください。

### 【交通案内】

電車で

・JR成田線・佐原駅バス乗場から桜東バス（江戸崎方面行き）利用  
「中神」下車 徒歩10分 ※事前に運行予定をご確認ください。

車で

・圏央道稲敷東ICより県道5号線及び国道125号線経由で20分

### 【お問い合わせ先】

稲敷市立歴史民俗資料館

〒300-0736 茨城県稲敷市八千石18-1

電話：02999-79-3211 FAX：02999-79-3213